

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 5 0 号
件 名	新潟市議会議員の議員定数削減について
要 旨	<p>私たち中小企業者は、この景気低迷の中、血のにじむような努力をし、徹底的な経費削減、経営努力をしても厳しい状態からなかなか脱することはできません。空洞化する製造業の中、地域経済の担い手として壁につめを立てるようにして必死に戦っているのが現状です。</p> <p>先般、市長は公費削減のため、無駄な事業はないか新潟市の事業仕分けを行いました。また、職員の定員適正化計画をつくり、職員削減に努めていると聞いております。</p> <p>税収が上がらず、合併して多様な事業が押しなべて、ますます財政が困窮する中、市財政の健全化はとりもなおさず経費の削減にかかっていると思います。</p> <p>ところが、市民を代表する市議会は、さきの9月議会でたった4議席の定数削減すら否決されたそうで、我々市民の声も聞かず自分の身分だけを守ろうとする市議会にあきれ果て、義憤を持って署名活動を開始したところ、瞬く間に1万人近くの署名が集まりました。</p> <p>来年の春の改選時には、必ず最低限でも議員定数を減らして選挙を行うことが市民の範たる議会の姿ではないでしょうか。ここに現在まで集まっている署名簿を添えて、議員の定数削減を要望申し上げます。</p>
付 託 年月日 委員会	平成 22 年 12 月 2 日 議会運営委員会
受 理	平成 22 年 11 月 26 日 第 4 0 5 号